

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-198
研究課題名 EVAR（Endovascular aortic repair：腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術）における麻酔管理と術後せん妄に関する検討
研究期間 西暦 2014年 7月（倫理委員会承認後）～ 2015年 6月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録・麻酔記録 ）
上記材料の採取期間 西暦 2012年 1月～ 2013年 9月
意義、目的 Endovascular aortic repair（腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、以下 EVAR と表記）は、従来の開腹による人工血管置換術と比べ侵襲が小さい。従来手術適応とならなかった症例に関しても、比較的安全に手術および麻酔管理が可能となり、適応症例が増えてきている。しかし、これらの EVAR 症例では、高齢であったり動脈硬化性病変があったりすることにより、周術期なかでも術後の ICU（集中治療室）でせん妄を発症することが比較的多いことが知られている。せん妄は、多要因性発症であることと患者予後の増悪因子であることが知られているが、手術中の麻酔管理による影響については十分に検討されていない。患者背景・術式・術中の麻酔管理方法・術後のせん妄発生について検討することを本研究の目的とする。
方法 東北大学病院で 2012年 1月から 2013年 9月の期間に、腹部大動脈瘤で入院、ステントグラフト内挿術を受けた患者を対象とする。診療録・麻酔記録のデータを後ろ向きに検討する。調査項目①術前の病態・患者背景。②術式、手術時間、麻酔時間。③術後のせん妄発症、（CAM-ICU：Confusion assessment method for Intensive Care Unit）を用いて診断。統計学的解析には JMP Pro ver11 日本語版を使用して、t 検定、 χ^2 乗検定、カプランマイヤー法を行い、検討項目によっては多変量解析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座麻酔科学・周術期医学分野 実施責任者：吾妻俊弘 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 TEL：022-717-7321 FAX：022-717-7325